

シルバー せたがや

2017. 新年号

Vol.148



撮影：落合 泰造

- ・安全の 模範を示そう 我がシルバー
- ・まだ若い 思う気持ちが 落とし穴
- ・油断すな 心の隙に 起きる事故

平成 28 年度「安全標語」入選作品

★★ 目 次 ★★

2P…2017年 謹賀新年 年頭に当たって

3P…一体感が深まった 平成28年度 就業感謝のつどい

4P…中島宏昭医師による「三途の川の渡り方」/
”志村ふくみ” 作品鑑賞会／28年度 5年次会員
研修会開会

5P…第38回「いきいきせたがや文化祭」／初の班懇
談会を開催／未就業者の意向調査／230名が
就業したシルバーパス更新実務

6P…安全委員会からのお知らせ／「安全標語」大募集

／シルバー傷害保険対象・事故一覧／

あったかサロン便り

7P…会員のページ／訃報／「東京マラソン祭り2017」の
ボランティア募集

8P…事務局だより(さわやか相談・事業報告・
配分金振込予定日・本部が宮坂へ戻ります・
「会員手帳」を販売中・表紙の写真解説
(ボロ市と代官屋敷)・お詫びと訂正
／同好会ガイド



2017年 謹賀新年

年頭に当って

公益社団法人
世田谷区シルバー人材センター
会長 竹内 弘



新年明けましておめでとうございます。
皆様には、お健やかに輝かしい新年をお迎えなされたこと
と、お慶びを申し上げます。

昨今の進行する高齢社会にあつて、年金目減りをはじめ
社会的費用の増加等で、我々高齢者にとって厳しい状況が
続いておりますが、そうした中で、シルバー人材センターを
通じて生きがいのある人生に誇りと喜びをもって活動をして
おられる皆様に、心からの敬意を表します。

私も世田谷区シルバー人材センターの昨年を振り返っ
てみますと、まず宮坂の本部事務所の全面リニューアルに
よる用賀仮事務所への移転に伴い、会員の皆様へご不便を
おかけしたこと、区営駐輪場の向こう5年間の指定管理者と
して再指定をいただいたこと、かねてから重点項目として
掲げていた「地域組織」の充実強化が進んだこと等があり
ました。

今年は、まず本部事務所が1月下旬には用賀仮事務所か
ら宮坂本部に帰り、従来の事務を開始いたします。皆様
のご不便も、多少緩和されることと思います。

本部復帰を控え、また年頭にあたり思われますことは、い
よいよ来年は私どものシルバー人材センターが創立されて
40周年に当たります。先人たちの努力で今日のセンターが
あるわけですが、いかなる組織も30～40年を経ると大変
革が必要といわれています。会員皆様のご協力を得て、時代
に相應しい運営体制を整えてまいりたいと考えております。

会員の皆様、今年も「生きがい」「生涯現役」を目指して
元気で互いに力を合わせて活動していきましょう。年頭に
当たりご挨拶いたします。

公益社団法人
世田谷区シルバー人材センター
名誉会長
世田谷区長 保坂展人



明けまして、おめでとうございます。

世田谷区シルバー人材センター会員の皆様には、お健や
かに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

皆様がご自身の経験や技能などを活かし、仕事を通じて
地域活動にご尽力をいただくことで、地域の絆を深め、安全・
安心で、活力あふれるまちづくりに寄与してくださることに
敬意を表させていただきます。

区では、高齢化が進展していく中で、住み慣れた地域で
支えあい、安心して暮らせる地域社会を実現するための取
り組みを進めております。本年も引き続き、区政への一層
のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

新たな年を迎え、世田谷区シルバー人材センターが、高
齢者の就業の場を創出し、会員の皆様の生きがいや健康づ
くりを進めるとともに、いきいきと暮らすことができる地域
社会づくりに向けて取り組まれるよう期待しております。

結びに、シルバー人材センターのさらなるご発展と会員
の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といた
します。

今年もよろしく申し上げます



事務局長	監事	理事	常務理事	副会長	
青山善樹	奥明石 英善 雄和	本橋田 牧夫	土田信弘 三子	角木河大 村辺崎 千万純英 紀子枝男	河清竹 上宮内 二茂 郎光弘



一体感が深まった
平成28年度就業感謝のつどい
11月18日12時30分 成城ホールにて開催

◀福田様へ
感謝状を贈呈

◆来賓のご挨拶と感謝状贈呈

保坂区長からは“区の総人口は約89万3千人、要介護者35,000人、認知症の方が21,500人（毎年千人ほど増加）います。これらの方が住み慣れた地域で暮らしていくには地域の温かいサポートが必要で、センターの皆さんの活動に期待しています。”坂巻東京しごと財団理事長からは“契約金額で都内有数の実績を上げている当センターは、地域貢献事業でも、支えあいサービス、あったかサロンと目覚ましい”とお褒めの言葉をいただきました。

続いて、長年除草の発注をいただいている福田昭和様、鈴木敏章様、河野聰一郎様へ、感謝状が贈呈されました。

◆会員体験談発表

「あったかサロン」運営に携わっている角屋千寿子理事の談。



“区内の60歳以上の方を対象として26年5月開設したサロンは、9月末で利用者総数3千名、毎月百名が訪れます。同世代の仲間が集い和気あいあいの中で、生活の知恵・人として大切なこと等を教わる気がします。季節に応じ、七夕・クリスマス会等や、俳句・社交ダンス・健康体操・囲碁の講座等のイベントも行っています。

このような交流の輪が広がり、元気なシルバー世代が増えれば、区の発展に繋がるでしょう。

当センターに入会し、就業、ボランティア活動等を通して多くの方や社会と繋がり、自分の居場所を見つげられたことに感謝しています。”

斉藤真紀子さんの「支えあいサービス」の活動体験談は、以下のとおり。



“誰でも歳を重ねると、住み慣れた地域で安心して暮らすには、どなたかの協力が必要になってきます。

2年ほど前から、週1回一人暮らしの高齢者宅のお風呂掃除をしています。ほんの少しのお手伝いですが、お顔を見るとホッと、お小遣いも得られて楽しく続けています。

ちょっと顔を合わせるだけでもありませんが発注者様の喜びになり、私も元気や生きがいを得ながら就業に繋がることが嬉しいです。”



▼中島さんと新舞踊



◆会員によるアトラクション

社交ダンス同好会メンバーの華麗なダンスに続き、飛び入り参加者も交じり舞台は賑わいました。

カラオケ同好会の「人生いろいろ」には手拍子がわき、会員作詞の「ボケない小唄」（お座敷小唄の替え歌）を一同で熱唱しました。

最後は、新舞踊（北島三郎のまつり）。喜多見組の中島正江さんによる勇ましい口上と日本舞踊を中心に、壇上には大勢の応援団が交じってセンターの旗を振り大熱演。会場全体が熱気を帯びて、場内の一体感は最高潮に達しました。

◆田辺一邑^{いちのう}の講談「フジヤマのトビウオ」

登場した田辺さんは、小柄で美声の講談師。師匠の田辺一鶴が住んでいた江戸川区はシルバー人材センター設立第1号の地であり、セ



ンター創設の立役者「大河内一男東大学長」の父君は、講談・児童読物の作者・有名な速記者でもあり、講談本は速記を基に作成されていた等、センターとの繋がりや歴史を枕に講談が始まりました。

巧みな話術で笑いを誘いながら、古橋廣之進が清水市水泳大会で学童日本一になったのを皮切りに、数々の記録を打ち立て、国際水泳連盟復帰後、1949年の全米選手権に参加し世界新記録を樹立し「フジヤマのトビウオ」と呼ばれ、敗戦後の国民を奮い立たせた顛末を熱演されました。

皆様のご協力のおかげで、出席者は253名と会場内はほぼ満席状態になり、入口近くに設置した写真パネルもセンターPRの役割に寄与したようです。



▲展示パネル



中島宏昭医師 による講演

「三途の川の渡り方」

平成28年度組長・班長合同研修会

9月15日世田谷区民会館で、組長・班長合同研修会が開催され、107名が出席しました。

会長の挨拶、常務理事による「今年度の事業実績報告」に続き、世田谷

区保健センター所長 中島医師による、誰もがいつか直面する「死」についてのユーモアを交えた講演が行われ、大好評でした。

「臨死体験者によると、あの世は暖かい光に満ち花畑やせせらぎの音が聞こえ、逢いたかった故人に遭い、“まだ来てはいけない”と言われて帰ってきたという例が多く、自殺しそこねて生き返った人の体験は、酷い目に遭ったという例が共通していました。自分の死に顔を気にする人は安心してください。亡くなったときは、表情筋肉の力が抜け、誰もが柔らかな表情になります。

40年以上看取りを体験し、一生懸命生きてきた人は、その人にとって一番いい時期にあの世に行っていますから、三途の川も恐れることはありません。親の死は子供への最後の贈り物（子を自立させる）と言われ執着を残さないほうがいいのです。

人体の60兆個の全細胞が死ぬには数時間かかりますから、死の判定は、心臓の拍動停止、呼吸の停止、

瞳孔の反応等で医師が行います。

医師は過去例からの類推でしか余命を言えないので、あまり当たりません。しかし、気持がポジティブな人ほど長生きし、良い死に方ができると言えます。

米国のジーンマイヤーが発表した「夫を早死にさせる10か条」（肥らす、脂肪・塩分過多の食事や酒・たばこを勧める、運動をさせない、小言や嫌味を常に聞かせる等）の逆を行えば、生活習慣病にならずに元気で長生きです。

震災時の高齢者の死亡原因を考えると、高血圧や糖尿病等の持病がある人は1か月分ぐらいの薬を常備しておくこと、体を動かし、水とバランスの良い食事をとり、楽しくいきいき過ごし、深呼吸・腹式呼吸等を意識して行うことが、元気で長生きのコツでしょう。」

笑いの渦が沸き上がる中で、心に残る言葉の数々に気持を新たにされた方も多かったようです。

講演後、会館地下レストランで懇談会が開催され、祖師谷・成城組の石川組長、上北沢・上祖師谷組の江口組長、奥沢・等々力組の湯浅班長によるスピーチがあり、懇談の輪が広がりました。



“志村ふくみ” 作品鑑賞会

女性活動推進部会は、会員相互の交流を目的に、38名の会員が11月2日世田谷美術館で鑑賞会を実施しました。

志村さんは、草木染の紬織の技法で人間国宝に認定された作家で、展示された60年に及ぶ作品「繊細な色合いの着物」を学芸員さんの解説と共に鑑賞し、心の健康維持に役立ちました。



28年度

5年次会員研修会開催

28日 烏山区民会館
30日 三茶しゃれな一ど

11月28日・30日、総数100名が参加して5年次会員研修会が開催されました。

グループに分かれ、①就業機会の公平・適正化のための4回ルールの運用 ②組・地域組織活動への参加者増加策をテーマに討議して、以下の結果を発表。

①について

- ・「4回ルール」は順守すべき
- ・ルールの理解を深め厳格な運用を
- ・交代会員の不足で順守できない場合や発注者の要望にも配慮すべき

②について

- ・活動内容のPR不足



★清宮副会長の総評

4回ルールは、原則として年度契約の就業に適用され、単発発注の植木、除草、家事援助等は適用外になります。

アンケート結果の傾向

研修会の感想や希望するテーマへの回答で最も多かったのは仲間との交流、意見交換が良かったことと、交流を深める方策をテーマに希望する等でした。

「第38回いきいきせたがや文化祭」開催

シルバー人材センター・生涯大学・高齢者クラブの3団体が実行委員を務める「いきいき文化祭」が世田谷区民会館で10月26日、27日に開催され、2日間の来場者総数は5,859名。

各団体が、日頃の練習成果のフラダンスや民謡等の演芸を披露し、展示室には木彫りや絵画、手芸品等が並び、見物客で大変な混みようでした。近くの幼稚園・保育園の園児の演技も大好評でした。

当センターも演芸部門では、社交ダンス、カラオケ、舞踊が参加。「あったかサロン」の常連さんも応援に駆け付け、馴染みの曲には手拍子で呼応し、舞台と客席の間に一体感を感じました。

舞踊の舞台では、踊りのバックにセンターののぼり旗や多数の会員が応援登場し、おおいに会場を沸かせました。

工芸体験コーナーでは、来年の干支「鶏」の絵馬作りや、七宝のアクセサリー作りの周りに順番待ちの人垣ができていました。



初の班懇談会を開催

船橋組の丸貴静香班長は、新しい試みとして、会長に申請、許可を得て、8月26日17～20時、班単位の懇談会を開催しました。

班の総数23人中12名が参加し、自己紹介・就業状況発表から賑やかな懇談会になり、以後ご近所で出会えば会話をかわす関係ができました。

会場費+飲料代150円をセンターが負担し、会費500円で弁当+飲物等の飲食付の会合でした。

班内の全会員の状況を把握した班長の采配で、懇談会開催が成功したと言えそうです。



未就業者の意向調査

平成27年9月以前の入会者で、平成26年10月～28年4月末の期間中未就業だった会員426名にアンケートを送付し、回答があった174名から退会希望の43名を省いた131名の分析結果を報告します。

就業希望は68名、体調等から今後も就業しないが退会はしたくない53名、未記入10名でした。

就業しなかった理由では、事務局から一度も連絡がなかった41名、連絡を受けたが不都合があり断った37名、体調不良・家庭の事情で断った27名、他に仕事があった24名でした。

退会したくない方の理由は、会報等の情報等を得たい64名、同好会・ボランティア活動等に参加したい24名でした。

就業希望者には、さわやか相談等への来訪を促して対応

していく予定です。

加齢や体調から就業はできないが、会員として繋がっていたいという方が一定数いることがわかります。

230名が就業した シルバーパス更新実務

9月1～30日まで、区内37か所にシルバーパス更新会場が設置され、未就業者を含む230名の会員が就業し、契約金額は、10,593,990円にもなりました。

会員にとってこの就業は、接遇・正確な事務処理・協調性等を要求され、就業入門体験として貴重です。



安全委員会からのお知らせ

◆安全パトロール実施報告

安全委員会は、安全推進計画に基づき9～10月、以下の就業業務を選定して、全委員による「安全パトロール」を実施しました。

対象としたのは、「ミニSL管理」、「児童見守り」、「地区会館管理」、「運動場清掃」、「市民緑地門扉開閉」、「配食サービス」。

今年も猛暑が続き、各自こまめな水分補給を主に、猛暑対策を工夫して安全就業をされていました。

児童見守りやミニSL管理では、学童、見学の幼児、自分自身の安全に気を配る必要があり、市民緑地門扉開閉では、高齢者には危ない急斜

「安全標語」大募集!

挟み込み別紙の「安全標語募集要項」を読んで、奮ってご応募ください!

当選者は、定時総会で表彰されます。たくさんのご応募をお待ちしています!

面等がありますが、各就業内容により様々な工夫で健康・安全を保つ就業をされていると感じました。

平成28年度 シルバー傷害保険対象・事故一覧 (前号掲載以降 11月末現在)

月日	性別	年齢	発生区分	就業内容	事故発生状況	傷害内容	入・退院日数
7/24	男	78	就業中	庭園管理	庭園内の樹木管理で、ツツジの植え込みを剪定中に、スズメバチに左手首を刺された。	虫刺され	通院2日
9/9	男	80	就業中	除草作業	作業終了後、忘れ物を取りに行く途中、斜面で左足が滑り、うつ伏せ状態で滑り落ち、隣家のブロック塀に激突。	肋骨ひび 肋骨骨折	通院見込 5日
9/12	女	76	就業中	家事援助サービス	庭清掃で、植木の下に滑り込みながら作業していたら、脇の下からウエスト辺りまで痒みを感じ、無数の発疹が出た。	虫刺され	通院2日
10/5	女	70	就業中	法事の準備、片付け	小走りで客間に向かったが、客間はリフォーム中で真っ暗な中、いつもはない座敷机が置いてあった。机に気付かず机の天板に両足の脛をぶつけて転倒。	打撲 創傷	通院見込 5日

あったかサロン便り

1月末には、事務局が宮坂へ戻ることになりましたが、“サロン”は今までどおり用賀で、あったかい談話室として続いていきます。

10月のイベントは、田村理事による健康体操：自彊術（ジキョウジュツ）講座で、大好評で定期的に開催してほしいという声が出ています。

顔、肩、腕、手指、脚の付け根から足先、足裏…と順に揉み解していきますが、全身がホカホカして腰や膝が曲げやすくなり、皆びっくりでした。

「いきいき文化祭」や「就業感謝のつどい」



▲互いに肩・首筋をほぐし合い、いい気持ち!

にサロンのお馴染みさんがたくさん参加して、会員の出番で応援をしてくださいました。

お仲間の輪が広がることは素晴らしいです。あなたも、お仲間の一人になりませんか。

注意!

1月23日から、事務局は、宮坂本部です!

引越しするよ!



音楽が頭の中で絵になる

松原・松沢組 来田 史郎

高校時代、兵庫県の画展に2回入選したけれど、親の勧めで法学部へ進学、大手企業に入社し日曜画家に徹してきました。

定年後1993年「フィナーレ国際美術展」に2年連続入選。「日本国際美術家協会」主催の1999年「日仏現代美術世界展」で入選。同年「スペインバルセロナ展」にも入選。翌年「パリ国際サロン展」に入選し「サロン」の会員に、同年「日本国際美術家協会」の会員にも推挙されました。現在も、センターの就業の傍ら国内国外の様々な美術展に出展しています。

音楽好きの兄の影響で、10代の頃からクラシック音楽を聴くと絵が頭に浮かび“音楽を絵にする”

が、私の一貫したテーマです。

今年4月から、井之頭線の狭い踏切をトラックや乗用車、ママチャリが激しく行き交う場所で、学童の通学見守りをしています。

顔馴染みの子供たちから元気をもらい、自分が少しは役に立っていることが実感できて、嬉しく感じる日々です。

今年のいきいき文化祭に出展した絵です。



ドレミ夜明けラプソディー

私が好きな格言

上町組 平塚 郁太郎

私の選んだ格言を紹介します。人との出会いが運命を変えるように、あなたの人生を変えてしまうような「一言」が見つかるかもしれません。少しでもお役に立つと嬉しいです。

- ・ 明るい性格は財産よりも尊い (米：カーネギ)
- ・ 人との最初の絆は、助け合ったときにできる (仏：ヴォルテール)
- ・ 長生きするためには、ゆっくり生きることが必要である (ローマ：キケロ)
- ・ 人間の眼は失敗したときに初めて開く (露：チェーホフ)



- ・ 死ぬよりも苦しむほうが勇気が必要とする (仏：ナポレオン)
- ・ 失敗や失望からしばしば予想外の道が開ける (カナダ：キングスレイ)
- ・ 悲しむことはない。今の状態で何ができるかを考えてベストを尽くすことだ (仏：マルセル)
- ・ 感謝の心は最大の美德のみならず、あらゆる他の美德の両親なり (ローマ：キケロ)
- ・ 幸福の最も大きな障害は、過大な幸福を期待することである (仏：フオントネル)
- ・ 明日は、試練に応じた新しい力をもたらすであろう (スイス：ヒルティ)
- ・ 1日生きることは、1歩進むことでありたい (日：湯川秀樹)

訃報



現理事の前田俊夫様が、去る11月2日、ご逝去されました。謹んで、哀悼の意を表します。なお、ご遺族様の意思で御弔問、御供物の儀は一切お断り致します。

「東京マラソン祭り2017」ボランティア募集！

平成29年2月26日(日)に開催される東京マラソン祭りのボランティアを募集しています。詳細については未定ですが、参加ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

参加希望者には、当日の活動場所や集合時間、作業内容等の詳細等を、決まり次第ご連絡いたします。

★お問合せ：事務局担当 山野・小坂橋

Tel 3426-9211

* 昨年の活動作業内容は、ゴール地点で、会場美化活動を26名で約2時間行いました。

事務局だより

★会費納入のお願い★

平成27年度及び28年度の会費(年1,000円)が未納の方は、早急に宮坂本部または烏山支部へお納めください。

就業についてのご相談

- ◆ 理事による「さわやか相談窓口」は毎月第2月曜日に行われます。
※(祝祭日と重なっている場合は翌日)

-----1月～3月-----

場 所

- ・1/10(火) …用賀ワークプラザ
- ・2/13(月) …2月以降は宮坂本部
- ・3/13(月) …宮坂本部

・開設時間：10～12時 13～15時
(お一人の相談時間は30分以内です)

- ◆ 事務局窓口では、窓口開設中はいつでも相談できます。

平成29年度

「会員手帳」を好評発売中!

シルバー「会員手帳」は、会員の心得・センター就業の仕組み・傷害保険のあらまし・万一就業先で事故にあったとき・問い合わせ先・かかりつけの病院名などを記入する欄・健康チェックや体験等記録欄もあります。月ごと、日ごとの記帳ができ、別冊アドレスブックが添えられています。

会員特別販売価格
200円(定価348円)

部数に限りがありますので、用賀ワークプラザ(1月23日以降は宮坂本部)、烏山支部にてお早めにお求めください。



色は薄いベージュ色

事業報告

平成28年4月～10月(対前年度同月比)

- ・会 員 数 3,063人(61人減)
- ・受注件数 14,002件(151件増)
- ・契約金額 7億6,992万円余(4,143万円余増)
- ・就 業 率 71.4%

前年度比で契約金額が順調に伸びている一方で、会員が61人も減少しています。このままでは仕事の依頼があっても受注できない事態にもなりかねません。近所の方に入会を勧めるなど会員の増にご協力ください。

世田谷区シルバー人材センター

本部が宮坂に戻ります

宮坂区民センターの改修工事が終了し、1月20日引越し予定。

1月23日から通常業務を開始します。
なお、植木受付、カルチャー教室、パソコン教室等の実施場所は、引き続き、旧池尻地区会館(池尻2-34-3)です。
用賀ワークプラザは29年10月～30年1月下旬まで改修のため、その期間閉鎖します。

★お詫びと訂正★

秋号(147)の2頁「定時総会開催」の記事中の「安全標語入選者6名(代表平塚郁太郎氏)」と写真説明「▲安全標語入選の平塚郁太郎氏」のお名前は、湯本悦次氏の誤りでした。御兩人にお詫びして訂正します。

配分金振込予定日

配分金振込みは支払日に指定口座へ入金されますが、給与振込みと違い、全ての口座へ午前中に入金されるわけではありません。ご了承ください。

- ・12月15日(木)
- ・1月19日(木)
- ・2月14日(火)
- ・3月14日(火)

表紙の写真解説

ポロ市と代官屋敷



世田谷の冬の風物詩ともなっているポロ市は430年以上の歴史を持ち、都の無形民俗文化財に指定されています。戦国時代の小田原城主北条氏政による楽市(市場税を免除し自由な行商販売を認める市)がその起源です。ポロ市の名は、野良着の繕いや補強用に、また草鞋になえ込むためにポロがさかんに売られていたことからついたといわれています。その通称ポロ市通りに今は700ほどの露店が並び、食料品、植木、古着、骨董品などの買物客で賑わっています。またこの通りに都の重要文化財史跡である代官屋敷と、その敷地内には区立郷土資料館があります。

- ・最寄駅 東急世田谷線「世田谷」「上町」
- ・開催日 12月15・16日
1月15・16日

世田谷区シルバー人材センターの楽しい広場

同好会会員募集

◆シルバーボウリング同好会

・場所 オークラボウル ・毎月第3金曜日 午後4:30～活動

★連絡先 鈴木尊康 ☎090-2175-4615

◆囲碁同好会

囲碁の好きな方、実力無関係です。

・場所 世田谷地区会館(バス:大蔵ランド前 下車3分)
・毎月(※ケヤキネット)第2火曜日と第4土曜日 午後1時～5時

★連絡先 田村 進 ☎090-7856-3519

※ケヤキネットで申し込むので外れるとその日はお休み

◆植物研究同好会

草花・低木の手入れ管理、実習など。

★連絡先 前澤一福 ☎090-7417-7420

◆ゴルフ同好会「けやき会」

・年4回 コンペを開催。

★連絡先 宮田 朋和 ☎090-9310-2758

◆カラオケ同好会

★連絡先 ・(松陰神社) 辻谷 ☎3303-4212

・(船橋) 佐藤 ☎3483-0203

◆社交ダンス同好会

「いきいきせたがや文化祭」出演予定

・場所:「リフレッシュ氷川」渋谷区東1-26-23(☎5466-7700)

・原則として月曜日:午後4時～6時30分

★連絡先 西村光代 ☎3420-1007

平成29年1月1日発行 通算第148号 編集発行:公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター

本 部:〒156-0096 世田谷区宮坂1丁目24番6号(1月20日までは玉川台1丁目12番1号 用賀ワークプラザ) ☎03(3426)9211(代)
烏山支部:〒157-0063 世田谷区粕谷1丁目7番34号 ☎03(5316)1371

▼ホームページ <http://www.sjc.ne.jp/setagaya/>